

会 報

2004 年度

1. 春季大会記事

2004 年度春季大会は、6 月 27 日(日)に北海道浅井学園大学北方圏学術情報センターにて開催された。以下の通り、一般研究発表、ミニシンポジウムおよび総会が行われた(参加者 35 名)。

●一般研究発表 (10:45~12:25)

橘美由紀(北海道大学大学院地球環境科学研究科・院):
礼文島風衝地の植生分布と成立条件における地生態学的考察

相馬絵美(北海道大学大学院文学研究科・院):積雪地域における地域防災計画の考察—札幌市中心部を事例として—

経亀 論(北海道大学大学院文学研究科・院):札幌市におけるスーパーの立地特性とその変容

沼田尚也(北海道大学大学院文学研究科・院):函館市における人口移動と住宅立地

楊 溢(札幌国際大学大学院観光学研究科・院):中国市場における訪日観光の地域戦略

なお、一般研究発表については、本号に発表要旨を掲載している。

●ミニシンポジウム (13:30~16:00)

「地理野外調査を考える」(札幌地理サークル第 356 回例会との共催)

趣旨説明(司会進行):菊地達夫(北海道浅井学園大学短期大学部)

前半報告:水見山幸夫(北海道教育大学旭川校):北海道教育大学旭川校 2003 年度オーストラリア地理学実習

前半コメント:大内 定(北海道教育大学札幌校)

後半報告:渡辺悌二(北海道大学大学院地球環境科学研究科):社会貢献型の地理学の野外調査—ヒマラヤ、カラコルム、中央アジアにおける、学際的野外調査の枠組みと地理学からの貢献—

橋本雄一(北海道大学大学院文学研究科):海外経済調査と GIS

後半コメント:鈴木正章(道都大学経営学部)

なお、ミニシンポジウムについては、本号に発表要旨を掲載している。

●総会 (16:05~16:50)

2003 年度事業報告・決算報告・監査報告について:

幹事長より 2003 年度事業報告、事務局より決算報告、会計監査より監査報告がそれぞれあり、いずれも承認された。事業報告の内容は、次に挙げる 4 項目だった。1) 機関誌「北海道地理」第 74 号・第 75 号・第 76 号・第 77 号の刊行、2) 春季大会の開催、3) 秋季大会の開催、4) 「私たちの身のまわりの環境地図作品展」への協賛。なお、2003 年度末の会員数は、顧問 5 名、普通会员 148 名、学生会員 24 名であった。

2004 年度事業計画案・予算案について:

幹事長より 2004 年度事業計画が提案され、承認された。事業計画案の内容は、次に挙げる 5 項目だった。1) 会誌第 78 号・第 79 号の刊行、2) 春季大会の開催、3) 秋季大会の開催、4) 例会の開催、5) 「私たちの身のまわりの環境地図作品展」への協賛。これに伴う予算案が事務局より提案・説明され、承認された。

2003 年度決算報告(カッコ内は予算額):

(収入)

会費	584,500 (450,000)
雑収入	333,843 (150,000)
〈広告料	90,000 (135,000)〉
〈会誌販売	15,000 (5,000)〉
〈寄付金	6,000 (10,000)〉
〈その他	222,843 (0)〉

会誌第 77 号印刷予定額と確定支払額の差額。

前年度繰越金	0 (0)
計	918,343 (600,000)

※会費収納率 129.9%。

(支出)

会誌印刷費	325,920 (340,000)
事務費	11,636 (12,000)
通信費	107,955 (130,000)
〈学会誌郵送	44,855 (74,000)〉
〈大会関係	34,770 (37,000)〉
〈その他	28,330 (19,000)〉
謝礼	0 (10,000)
秋季大会補助	0 (40,000)
会議費	20,850 (8,000)
予備費	0 (60,000)
次年度繰越金	451,982 (0)
計	918,343 (600,000)

※会誌印刷費は第 78 号の確定印刷費。

2004 年度予算案：

(収入)

会費	430,000
雑収入	40,000
<広告料	30,000>
<会誌販売	10,000>
<寄付金	0>
前年度繰越金	451,982
計	921,982

(支出)

会誌印刷費	400,000
事務費	70,000
<一般事務費	40,000>
<IGC パンフレット印刷費	30,000>
通信費	100,000
<学会誌郵送	30,000>
<大会関係	35,000>
<その他	35,000>
謝礼	10,000
秋季大会補助	40,000
会議費	20,000
予備費	281,982
計	921,982

※会誌印刷費は第 79 号分。

2. 秋季大会記事

2004 年度秋季大会として、10 月 9 日(土)に巡検「札幌
琴似再開発と三角山自然地理」を開催した。コースは JR 琴
似駅周辺再開発—琴似屯田兵村—山の手住宅街—三角山
で、参加者は 7 名だった。詳細については、本号掲載の報
告論文を参照されたい。

3. その他

- ・第 14 回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」(環境
地図教育学会主催)における優秀作品に対して、北海道
地理学会会長賞を授与した。

「暑い夏 涼しきはココにある!!」

北海道教育大学附属旭川中学校 2 年 中野 結

「We Love the KAMIKAWA Town」

北海道上川高等学校 3 年 桜田佳奈子・土屋茉奈・高
橋歩未・若見聡子

- ・会員消息(会誌 79 号掲載以降、敬称略)

入会：杉山悠然(北海道大学環境科学院), 山田佳奈子(北

海道教育大学札幌校), 今野美土里(北海道教育大
学札幌校), 渡部 斎(道都大学社会福祉学部)

退会：丹治輝一, 松本穂高, 堀 淳一, 渡辺英郎, 栃木
義正, 中村嘉男

【前号の訂正】

『北海道地理』第 79 号に誤りがありました。お詫びして
訂正いたします。

奥付頁「庶務委員」の欄に「相馬 絵美」を追加。